

屋久島の自然

中央中学校 一年一組 田中 源

ぼくたちが、住んでいる屋久島には、色々な自然があります。ぼくが、選んだ有名な場所には、五つあります。

まず一つは千ピロの滝です。落差六十メートルあり、そして屋久島三大滝の一つです。千ピロの滝の下流には竜神の滝とトロノキの滝があります。滝の名は、千人が手を広げたほどの大きさがあるといふことで、人が両手を広

屋久島町立 中央中学校

げた長さを一尋と呼ぶことから千人分で千ピロの滝と名付けられました。島の南東を流れる鯛え川の上流にあり幅二百メートル、高さ四百メートルという巨大な花こう岩の一枚岩の上を流れ落ちます。次に選んだのは、大川の滝です。大川の滝は、落差八十八メートルもあります。大川の滝は日本の滝百選にも選ばれています。落差八十八メートルから落ちる水はものすごい水しぶきをあげて滑べり落ちるのでとてもダイナミックです。ぼくは、大川の滝や千ピロの滝には、

また、五、六回ぐらいしがいったことがない
けど、とても大きくて、はくりよくもありま
す。次は、小杉谷です。ぼくはまだ小杉谷に
二回しかいったことがありません。小杉谷は
ずっとトロツコ道です。昔小杉谷には、およ
そ五百人ほどで児童生徒は百二十人ほどいま
した。昔は、そのトロツコ道をトロツコで買
い物にいたりして、雪でトロツコが動かせ
れないときは、へりで食べ物をおろしてもら
ったりしていました。小杉谷は、一か月に三

屋久島町立 中央中学校

十五日もの雨がふります。次にじょう文杉で
す。じょう文杉の樹れいは、七千二百年です。
屋久島の森林では、標高五百mをこえると、杉
林が見られさまざまな樹木との混交林を形成
しています。屋久島では、樹れいが千年をこ
えると屋久杉といいい数百年の若木は、小杉と
呼んでいます。じょう文杉は、確認されてい
る屋久杉の中で最大級の老大木として有名で
す。日本固有の植物といわれる杉のなかでも
屋久島に自然の状態で育っている杉は、屋久

杉と呼ばれます。ぼくは、まだじょう文杉を
のぼって見たいです。たことがないので、いつか
いつて見たいです。次は、太忠だけです。ぼ
くが六年生のときに、ぼくの友達とお母さん
でのぼりました。太忠だけに行くには、車で
時間もかかるし、歩くのにも、ものすごく時
間がかかります。太忠だけの頂上に行くとし
ても大きな、岩があります。そして遠くから
見ると、人間のおや指の形をしています。ぼ
くたちのぼっていたら、雪がつもっていま

屋久島町立 中央中学校

した。それで、雪をとって友達にあてました。
そしたら、ぼくも雪をあてかえされました。
とてもいたかったし、とてもつめたかったで
す。また、太忠だけに行きたいです。最後は
ながたにある、いなかはまでです。いなかはま
は、うみがわの産らん地としてとても有名な
場所です。いなかはま、前浜は、アカウミガ
メの上陸密度が日本一高い砂はまです。八月
に入るとふかした子がメが海に帰って行きま
す。最盛期には、一晩で二十頭以上、上陸す

ることもありません。アカウミガメの甲は約一
mほどです。ぼくが小さいころに、おばあち
ゃんたちといっしょにいながはまに行つて目
がらを見つけに行つていました。その時に一
回だけ、子がガメが海に帰つているのを見まし
た。そして、かわいかったので、だいて海に
かえしてあげました。そして、つりにいった
りしたときに、ウミガメをよく見るので、子
どものときは、あんなに小さかったのに、今
はもうあんなに大きくなつたんだなと思いま
した。最近では、いながはまにいつていな
のでまた行きたいです。

屋久島町立 中央中学校

ぼくは、まだまだ、屋久島の自然のことに
ついてしらないので、いろいろと屋久島のこ
とを、けいたい、パソコンなどでしらべて、
観光客の人とかに聞かれてもすぐにおしえら
れるようになりたいです。これから、もっ
と屋久島の自然のことについて、しつていき
たいと思います。